

移動式住宅 ホテルに变身

室蘭市の室蘭港に近い入江地区に来年4月、移動式の木造住宅「ムービングハウス」を活用したホテル102室がオープンする。海の玄関口のそばで、にぎわいづくりに貢献する。

室蘭港近く、来春開業

観光や交流拠点として使うという条件付きで、市が海岸町、入江町にまたがる市有地約6800平方メートルの売却先を公募。1億1000万円で購入した市の第3セクター「むろらん広域センタービル株式会社」から20年間の借地権を得た千歳市の建築会社「アーキビジョン21」が、ムービングハウスを設置し、管理・運営する。事業用地のうち約5800平方メートルがホテル、約1000平方メートルは駐車場用となる。

ホテルは2タイプあり、一つは1部屋に4人が宿泊できる平屋タイプで計12部屋（48人用）を設置する。もう一つは2階建てで、上1、2階に計2人が宿泊できる30室を計3棟（180人用）設置する。ムービングハウスはトレ

アジア大会宿舎 再利用



室蘭市に設置される平屋建てタイプのホテル（写真は千歳市の同種の建物）（3月24日、千歳市で）

ーラーで簡単に運べ、短い工期で設置できることが特徴だ。平屋タイプは能登半島地震の被災地に仮設住宅で520世帯分が設置された。千歳市内でも先端半導体の国産化を目指すラピダス工場の建設作業員向け宿舎として千歳市内に630

室が設置されたほか、ミニホテルとしても運用されている。入江地区に設置するムービングハウスの一部は、今年9〜10月に愛知県内を中心に開かれるアジア・アジアパラ競技大会で選手村宿舎として使用するものを再

利用する。

3月23日に事業説明で室蘭市役所を訪れたアーキビジョン21の丹野正則社長は「洋上風力産業の拠点を目指す室蘭で、作業員宿舎にも使ってもらえれば」と話した。青山剛市長は「室蘭港や入江運動公園に近く、フェリーで室蘭を訪れた人やスポーツ選手にも使ってもらいたい」と話した。